

アリーナ候補地決まる 現職員宿舎に 2020年の完成目指す



アリーナ候補地に決まった吾妻2丁目職員宿舎(1月11日、つくば市吾妻で)

筑波大学は12月21日、建設を検討中のスポーツや集客のイベントを行うアリーナの設置候補地を、現在、大学職員宿舎があるつくば市吾妻2丁目の敷地に決定したと発表した。つくば駅から徒歩5分以内の利便性の良さを決め手となつたが、同駅周辺では商業施設の閉店が相次いでおり、筑波大はつくば市と連携し、同駅周辺の活性化も図る考えだ。アリーナは2020年の完成を目指す。

(明尚尚之介 体育部副部長 2年、写真も)

候補地は敷地面積約1ナニ数百分の駐車を整理する約3000平方メートル、築波大が所有する。アリーナの建設と運営は、大学と民間企業が出資して新設する特定目的会社で、築波大は同地に敷地を貸し出す形をみる。今月中には「コンサル」事業者と契約し、具体的な事業計画や収益の見込みなどを検討する。

同地区の職員宿舎は現在、127世帯が住んでおり、年内までに別の宿舎などへ移転を促す。

アリーナでは、学式などの学内行事のほか、大学バスケットボールやロボスカウトの試合、芸術公演なども行う予定。周辺には飲食店の商業施設の設置計画もある。永田恭介学長は「週末に小さなお祭りができるような施設を目指したい」と語った。



つくば駅とアリーナ候補地周辺の地図

海外にはアリーナの建設や運営が市街地の開発や活性化を成功させた事例がいくつもある。つくば駅周辺では、昨年2月に西武筑波店閉店したほか、イオンの閉店も決まった。アリーナ建設が駅前の開発の原動力となることを期待している。

だが実際に候補地を歩いた記者の目

海外にはアリーナの建設や運営が市街地の開発や活性化を成功させた事例がいくつもある。つくば駅周辺では、昨年2月に西武筑波店閉店したほか、イオンの閉店も決まった。アリーナ建設が駅前の開発の原動力となることを期待している。

だが実際に候補地を歩いた

「1面参照」第7回大学新聞コンテスト連載賞を受賞した宿舎問題については、2015年4月号(330号)で筑波大学の学生宿舎問題を取り上げた特集を機に始まった。特に、居室の狭さや居住環境の悪さを指摘。大学の公式ウェブサイトに記載されていた居室面積「10平方メートル」を下回る部屋も存在することを、実際に複数の居室を調査して明らかにした。

その後は不法投棄問題を中心に宿舎をめぐる問題を何度も取り上げた。15年10月号(333号)では、粗大ゴミが不法投棄された現場を山野拓太郎記者、社会学4年がルポ記事として、不法投棄現場に放置されたカビが生えたマットレスや、小バエが舞う様子のほか、明らかに学外で思われる中年男性がゴミを不法投棄する様子、また男性が記者の質問を避けて明らかにした。

連載を続ける中、17年1月には大学が動きを見せ始めた。同年1月号(333号)では、大学側が学生宿舎の居室に限り使用できる粗大ゴミ置場の設置を決め、不法投棄問題の解決を目指す始めたことを報じた。また、同年7月には大学がゴミ置場に防犯カメラを設置し、学外で取り込まれたゴミを防止する取り組みを始めた(336号)。問題は解決に向けて

着実に進展している。一方、同年12月号(339号)では、正式に設置されたゴミ置場に記者が3日間監視した結果、若い男性が8本の缶・ストロークを投げ入れた。外国人の男性が粗大ゴミを物色する様子も捉えられた。進捗が見られる一方、やはり不法投棄問題は依然として

「1面参照」つばはセンター地区活性化協議会が主催する「ランタンアート2017」が、12月16、17日(土)には駅周辺で行われた。約7000個のランタンが会場を彩り、多くの見物客が訪れた。

会場ではつくば市内の小中学生が手作りした「ランタン」の展示のほか、芸術大学では6、7、8人が受入の学生制作した「ランタン」に登場人物が投票する「オリジナルランタンアート」も開催された。同協議会の長岡典子さんは「12月に開催された

「1面参照」つばはセンター地区活性化協議会が主催する「ランタンアート2017」が、12月16、17日(土)には駅周辺で行われた。約7000個のランタンが会場を彩り、多くの見物客が訪れた。

会場ではつくば市内の小中学生が手作りした「ランタン」の展示のほか、芸術大学では6、7、8人が受入の学生制作した「ランタン」に登場人物が投票する「オリジナルランタンアート」も開催された。同協議会の長岡典子さんは「12月に開催された

着実に進展している。一方、同年12月号(339号)では、正式に設置されたゴミ置場に記者が3日間監視した結果、若い男性が8本の缶・ストロークを投げ入れた。外国人の男性が粗大ゴミを物色する様子も捉えられた。進捗が見られる一方、やはり不法投棄問題は依然として

「1面参照」つばはセンター地区活性化協議会が主催する「ランタンアート2017」が、12月16、17日(土)には駅周辺で行われた。約7000個のランタンが会場を彩り、多くの見物客が訪れた。

会場ではつくば市内の小中学生が手作りした「ランタン」の展示のほか、芸術大学では6、7、8人が受入の学生制作した「ランタン」に登場人物が投票する「オリジナルランタンアート」も開催された。同協議会の長岡典子さんは「12月に開催された

クレオ全店舗閉店へ 市議会 再開発求める 1月末閉店

つくば駅前にある商業ビル「CREO(クレオ)」は市吾妻の全店舗が1月末に閉店することが、同ビルを管理する筑波都市整備(同市竹園)などへの取材で分かった。昨年3月には、同ビルに入居していた西武筑波店が閉店している。これに関連し、つくば市議会は12月、つくば駅前の活性化のため、税金の投入を含めた施策を、つくば市に求める決議を可決した。(森賢達 11 社会学類 1年、写真も)

同ビルは7階建て。現在、1階が店舗、「1オクト」は駅前店の撤退ビル、2階は「1オクト」の撤退ビル、3階は「1オクト」の撤退ビル、4階は「1オクト」の撤退ビル、5階は「1オクト」の撤退ビル、6階は「1オクト」の撤退ビル、7階は「1オクト」の撤退ビル。

同ビルは7階建て。現在、1階が店舗、「1オクト」は駅前店の撤退ビル、2階は「1オクト」の撤退ビル、3階は「1オクト」の撤退ビル、4階は「1オクト」の撤退ビル、5階は「1オクト」の撤退ビル、6階は「1オクト」の撤退ビル、7階は「1オクト」の撤退ビル。



今年1月末に閉店が決まったクレオ(1月15日、つくば市吾妻で)

つばは市議会は12月15日、つくば市駅前再開発の再開を求め、同ビルを管理する筑波都市整備(同市竹園)などへの取材で分かった。昨年3月には、同ビルに入居していた西武筑波店が閉店している。これに関連し、つくば市議会は12月、つくば駅前の活性化のため、税金の投入を含めた施策を、つくば市に求める決議を可決した。(森賢達 11 社会学類 1年、写真も)

山岳科学センター菅平高原実験所
「大明神寮」有形文化財に

登録有形文化財に登録された「大明神寮」は、今年度中に同所の研究や野外実習のための宿舎として建設された。同実験所内にある「大明神の滝」などにも名づけられた。現在、同実験所主催の自然観察会で動物の紹介をする「自然ガイド」の養成講座などで利用されている。

登録有形文化財に登録された「大明神寮」は、今年度中に同所の研究や野外実習のための宿舎として建設された。同実験所内にある「大明神の滝」などにも名づけられた。現在、同実験所主催の自然観察会で動物の紹介をする「自然ガイド」の養成講座などで利用されている。

1920年の創刊以来、東京大学の「今」を発信し続ける
東京大学新聞

【新聞】最新の学術動向から身近な学内トピックスまで、日々東京大学から発信される旬なニュースを週刊でお届け。通常号のほか就職、大学院、受験、資格、入試等、テーマ別の特集号も含め年間42回発行

【出版】東京大学情報本『東大2017 とんがる東大』1,620円(税込)好評発売中
東京大学新聞年鑑『東大は主張する2015-16』1,620円(税込)好評発売中

定期購読のお申込は、下記の電話番号もしくはメールアドレスまでご連絡ください。
■購読料金(送料・税込) 1年間…7,300円 / 2年間…14,200円

〒113-8691 東京都文京区本郷7-3-1 東大構内
電話 03(3811)3506 E-mail post@utnp.org
ウェブサイト http://www.todaihinbun.org/company
公益財団法人東京大学新聞社
オンライン版 http://www.todaihinbun.org/

「1面参照」つばはセンター地区活性化協議会が主催する「ランタンアート2017」が、12月16、17日(土)には駅周辺で行われた。約7000個のランタンが会場を彩り、多くの見物客が訪れた。

会場ではつくば市内の小中学生が手作りした「ランタン」の展示のほか、芸術大学では6、7、8人が受入の学生制作した「ランタン」に登場人物が投票する「オリジナルランタンアート」も開催された。同協議会の長岡典子さんは「12月に開催された

自転車トラックレース W杯 女子オムニアム

梶原悠未 2戦連続金メダル



W杯の振り返りと今後の目標を語る梶原 (12月14日、5C棟で) = 明石尚之撮影

インタビュー

12月9日(現地時間)にサンティアゴ(チリ)で開催された自転車競技の世界大会、UCIトラックワールドカップ(W杯)第4戦の女子オムニアムで、第3戦に続き優勝を果たした梶原悠未(体専1年)が本紙にインタビューに応じた。より大きな大会を表彰台を目指したいという気持ちで、「東京五輪で金メダルを」とが最大の目標という。W杯の感想や今後の目標を聞いた。

— W杯第3戦、第4戦 今回は自信を持ち、自分のうちの1つを達成できたとのオムニアム連勝を振 強を出して走れただけで金でよかった。しり返っての感想は、メダルを獲得できな 思い、しかし、大会の結果は満足 今までは自分の実力に自 ます。W杯と世界選手権で ましたが、思った以上に 信が来、周りの選手に気 金メダルを取ることが 達成感がありませんし 後れていました。しかし、と目標だったので、(その た。そのため、世界選手権



相手に抜かれないように走る梶原 (12月9日(現地時間)、サンティアゴで) = 本人提供

厳しい展開も逃げ切り優勝

出場。梶原は日本代表として1レースに参加した。1種目のスクラッチは、トラックで10分の距離走り、最終順位は第4位。梶原は、中田とラウライの選手らと共に1周追い抜かれたが、4位でゴールし、良いスタートを切った。

4戦が12月8、10日(現地時間)にサンティアゴ(チリ)で行われ、梶原悠未も専ら女子オムニアムで優勝した。梶原は前回のW杯第3戦でも優勝しており、同種目での2連勝となった。

オムニアムはスクラッチ・テンポレース・エリミネーション・ポイントレースの4種目のレースの総得点で競い合う。各国の代表選手人ずつ、総勢14人が

— W杯第2戦では、チームペーシング(団体追い抜き)で銅メダルを獲得しましたが、オムニアム以外の種目の現状は、オムニアム以外の中田選手目では団体追い抜きと1人組でレースを行うマディソン(出場)しています。団体追い抜きは、チーム全体の実力が向上したと、イン・メルビ・ヘッドコーチの采配のおかげで第2戦で銅メダルを獲得できました。マディソンは、第3戦で初めて出場しました。第4戦では4位に終

— W杯第2戦では、チームペーシング(団体追い抜き)で銅メダルを獲得しましたが、オムニアム以外の種目の現状は、オムニアム以外の中田選手目では団体追い抜きと1人組でレースを行うマディソン(出場)しています。団体追い抜きは、チーム全体の実力が向上したと、イン・メルビ・ヘッドコーチの采配のおかげで第2戦で銅メダルを獲得できました。マディソンは、第3戦で初めて出場しました。第4戦では4位に終

に位置取り、最後はメキシコの選手との騎打ちを制して1位を獲得。首位で最終種目に進んだ。最終種目のポイントレースは、総距離20分のうち、2分の通過順で得点が与えられ、合計点を競った。梶原は、高得点を狙う相手選手への対処に追われ、1周追い抜きによる特別得点を防ぐためにスピードを出さなければならない。体力を削る厳しい展開となったが、逃げ切ることに成功し優勝を果たした。

梶原は、今まで勝てなかった選手たちに勝つことができ、自信が湧いた。今後は世界選手権などに向けて対策を立てていきたい」と話した。

に位置取り、最後はメキシコの選手との騎打ちを制して1位を獲得。首位で最終種目に進んだ。最終種目のポイントレースは、総距離20分のうち、2分の通過順で得点が与えられ、合計点を競った。梶原は、高得点を狙う相手選手への対処に追われ、1周追い抜きによる特別得点を防ぐためにスピードを出さなければならない。体力を削る厳しい展開となったが、逃げ切ることに成功し優勝を果たした。

梶原は、今まで勝てなかった選手たちに勝つことができ、自信が湧いた。今後は世界選手権などに向けて対策を立てていきたい」と話した。

「目標は東京五輪で金メダル」

— W杯第2戦では、チームペーシング(団体追い抜き)で銅メダルを獲得しましたが、オムニアム以外の種目の現状は、オムニアム以外の中田選手目では団体追い抜きと1人組でレースを行うマディソン(出場)しています。団体追い抜きは、チーム全体の実力が向上したと、イン・メルビ・ヘッドコーチの采配のおかげで第2戦で銅メダルを獲得できました。マディソンは、第3戦で初めて出場しました。第4戦では4位に終

— W杯第2戦では、チームペーシング(団体追い抜き)で銅メダルを獲得しましたが、オムニアム以外の種目の現状は、オムニアム以外の中田選手目では団体追い抜きと1人組でレースを行うマディソン(出場)しています。団体追い抜きは、チーム全体の実力が向上したと、イン・メルビ・ヘッドコーチの采配のおかげで第2戦で銅メダルを獲得できました。マディソンは、第3戦で初めて出場しました。第4戦では4位に終

アイスホッケー

関東大学リーグ戦 創部史上初の2部優勝

関東大学リーグ戦アイスホッケー部が昨年12月25日にタイドドリコアイスアリーナ(東京)で、優勝を挙げた。

都西(東京市)などで行われ、男子アイスホッケー部と女子アイスホッケー部の優勝した駒澤大と対戦。2点は、創部史上初の優勝を果たした。また、主将の佐藤晋哉(社会学4年)が最優秀選手を獲得した。

予選リーグを通過し、1試合出場者が続出し、5人が対し、3人で守るだけ、放ったシュートにゴールを叩き、ピンチをしのいだ。第2ヒリオドでは、開始5分駒澤大に先制点を決められた。しかしその後、佐藤晋哉が点目となるゴールを決めた。その後、駒澤大は積極的な攻めを見せ、同9分、堂亮(社会学1年)のパスを受けた榎部希(社会学5年)がゴール正面からシュートを決め、同15分には寺門翼(同5年)のゴールで2-1とリードし前半を終えた。

第3ヒリオドでは、開始1分、峯直也(同4年)がゴール付近に立ち味方のはけのない状況になった。放ったシュートにゴールを叩き、ピンチをしのいだ。第2ヒリオドでは、開始5分駒澤大に先制点を決められた。しかしその後、佐藤晋哉が点目となるゴールを決めた。その後、駒澤大は積極的な攻めを見せ、同9分、堂亮(社会学1年)のパスを受けた榎部希(社会学5年)がゴール正面からシュートを決め、同15分には寺門翼(同5年)のゴールで2-1とリードし前半を終えた。

第3ヒリオドでは、開始1分、峯直也(同4年)がゴール付近に立ち味方のはけのない状況になった。放ったシュートにゴールを叩き、ピンチをしのいだ。第2ヒリオドでは、開始5分駒澤大に先制点を決められた。しかしその後、佐藤晋哉が点目となるゴールを決めた。その後、駒澤大は積極的な攻めを見せ、同9分、堂亮(社会学1年)のパスを受けた榎部希(社会学5年)がゴール正面からシュートを決め、同15分には寺門翼(同5年)のゴールで2-1とリードし前半を終えた。

陸上 箱根駅伝

1月2、3日に東京箱根間往復大学駅伝競走「箱根駅伝」が行われた。筑波大からは相馬聖史(体専1年)が関東学生連合チームのメンバーとして出走する予定だったが、右足首の故障で欠場。大城将範選手(平成21年度、11年ぶりの筑波大生)が、11年ぶりの筑波大生として出走する予定だったが、右足首の故障で欠場。大城将範選手(平成21年度、11年ぶりの筑波大生)が、11年ぶりの筑波大生として出走する予定だったが、右足首の故障で欠場。

相馬 5区欠場

相馬は箱根駅伝約3週間前の練習中、右足首に違和感を覚え、5000mほどで練習を続けていたが、徐々に痛みは強まり、出走3日前に筑波大の弘山勉監督と話をした。(森貴彦)

広告欄

詳しくは 029-853-6699 (本紙編集室) または shinbun@un.tsukuba.ac.jp まで

現場の通行禁止は解除

屋根の崩落 割れたガラス 潰れた椅子



屋根の崩落で飛散したガラスや建具(12月10日、1C棟で) = 木村誠撮影

「1面壊れ、粉々に割れた窓ガラス、潰れた椅子……。13日も屋根が崩落した現場には、事故の生々しい爪痕が残っていた。12月10日午前7時45分ごろ起きた第一エリアの1B棟と1C棟の2階をなぞる廊下の屋根の崩落は、多数教員が犠牲者が出なかったのは不幸中の幸いと嘆息した。事故の状況を報告する。

同日午後3時ごろ、日頃から見ている短髪短髪サイトツイッター上に、ある筑波大生が写真付きで崩壊を伝える投稿を発見した。早速現場に足を運ぶ。1C棟側の屋根を支えていた数本の固定器具(ワンカーホルト)が折られ、屋根が崩落していた。

同日午後3時ごろ、日頃から見ている短髪短髪サイトツイッター上に、ある筑波大生が写真付きで崩壊を伝える投稿を発見した。早速現場に足を運ぶ。1C棟側の屋根を支えていた数本の固定器具(ワンカーホルト)が折られ、屋根が崩落していた。二次災害を慮り、現場には可能な限り近付かないようにしたが、それでも1C棟側から渡り廊下の出入り口付近を見ると、屋根や廊下の粉々に割れた窓ガラスが辺りに飛散していた。また、崩落した屋根は渡り廊下へ出る扉に直撃、扉の金属製の枠は壊れ落ちていた。廊下にあった鉄製の机と椅子は潰れ、渡り廊下についていた手すり(長さ約25メートル、直径約5センチ)が約20センチほど折れ曲がっているのを見つけた。

同日午後3時ごろ、日頃から見ている短髪短髪サイトツイッター上に、ある筑波大生が写真付きで崩壊を伝える投稿を発見した。早速現場に足を運ぶ。1C棟側の屋根を支えていた数本の固定器具(ワンカーホルト)が折られ、屋根が崩落していた。二次災害を慮り、現場には可能な限り近付かないようにしたが、それでも1C棟側から渡り廊下の出入り口付近を見ると、屋根や廊下の粉々に割れた窓ガラスが辺りに飛散していた。また、崩落した屋根は渡り廊下へ出る扉に直撃、扉の金属製の枠は壊れ落ちていた。廊下にあった鉄製の机と椅子は潰れ、渡り廊下についていた手すり(長さ約25メートル、直径約5センチ)が約20センチほど折れ曲がっているのを見つけた。

同日午後3時ごろ、日頃から見ている短髪短髪サイトツイッター上に、ある筑波大生が写真付きで崩壊を伝える投稿を発見した。早速現場に足を運ぶ。1C棟側の屋根を支えていた数本の固定器具(ワンカーホルト)が折られ、屋根が崩落していた。二次災害を慮り、現場には可能な限り近付かないようにしたが、それでも1C棟側から渡り廊下の出入り口付近を見ると、屋根や廊下の粉々に割れた窓ガラスが辺りに飛散していた。また、崩落した屋根は渡り廊下へ出る扉に直撃、扉の金属製の枠は壊れ落ちていた。廊下にあった鉄製の机と椅子は潰れ、渡り廊下についていた手すり(長さ約25メートル、直径約5センチ)が約20センチほど折れ曲がっているのを見つけた。

同日午後3時ごろ、日頃から見ている短髪短髪サイトツイッター上に、ある筑波大生が写真付きで崩壊を伝える投稿を発見した。早速現場に足を運ぶ。1C棟側の屋根を支えていた数本の固定器具(ワンカーホルト)が折られ、屋根が崩落していた。二次災害を慮り、現場には可能な限り近付かないようにしたが、それでも1C棟側から渡り廊下の出入り口付近を見ると、屋根や廊下の粉々に割れた窓ガラスが辺りに飛散していた。また、崩落した屋根は渡り廊下へ出る扉に直撃、扉の金属製の枠は壊れ落ちていた。廊下にあった鉄製の机と椅子は潰れ、渡り廊下についていた手すり(長さ約25メートル、直径約5センチ)が約20センチほど折れ曲がっているのを見つけた。

北原さんベスト6

「夜の国のクーパー」紹介で

本を紹介し合い、聴衆の反応を最も読みたいと思つた本を「夜の国のクーパー」で紹介。その後、質疑応答を行い、聴衆全員の投票で、最も読みたくなった本「夜の国のクーパー」がベスト6に輝いた。

「夜の国のクーパー」は、筑波大附属図書館で開かれた茨城法政大会で開かれた。北原さんは、昨年10月17日に筑波大附属図書館で行われた「夜の国のクーパー」を紹介し、聴衆全員の投票で、最も読みたくなった本「夜の国のクーパー」がベスト6に輝いた。

同日午後3時ごろ、日頃から見ている短髪短髪サイトツイッター上に、ある筑波大生が写真付きで崩壊を伝える投稿を発見した。早速現場に足を運ぶ。1C棟側の屋根を支えていた数本の固定器具(ワンカーホルト)が折られ、屋根が崩落していた。二次災害を慮り、現場には可能な限り近付かないようにしたが、それでも1C棟側から渡り廊下の出入り口付近を見ると、屋根や廊下の粉々に割れた窓ガラスが辺りに飛散していた。また、崩落した屋根は渡り廊下へ出る扉に直撃、扉の金属製の枠は壊れ落ちていた。廊下にあった鉄製の机と椅子は潰れ、渡り廊下についていた手すり(長さ約25メートル、直径約5センチ)が約20センチほど折れ曲がっているのを見つけた。

同日午後3時ごろ、日頃から見ている短髪短髪サイトツイッター上に、ある筑波大生が写真付きで崩壊を伝える投稿を発見した。早速現場に足を運ぶ。1C棟側の屋根を支えていた数本の固定器具(ワンカーホルト)が折られ、屋根が崩落していた。二次災害を慮り、現場には可能な限り近付かないようにしたが、それでも1C棟側から渡り廊下の出入り口付近を見ると、屋根や廊下の粉々に割れた窓ガラスが辺りに飛散していた。また、崩落した屋根は渡り廊下へ出る扉に直撃、扉の金属製の枠は壊れ落ちていた。廊下にあった鉄製の机と椅子は潰れ、渡り廊下についていた手すり(長さ約25メートル、直径約5センチ)が約20センチほど折れ曲がっているのを見つけた。

同日午後3時ごろ、日頃から見ている短髪短髪サイトツイッター上に、ある筑波大生が写真付きで崩壊を伝える投稿を発見した。早速現場に足を運ぶ。1C棟側の屋根を支えていた数本の固定器具(ワンカーホルト)が折られ、屋根が崩落していた。二次災害を慮り、現場には可能な限り近付かないようにしたが、それでも1C棟側から渡り廊下の出入り口付近を見ると、屋根や廊下の粉々に割れた窓ガラスが辺りに飛散していた。また、崩落した屋根は渡り廊下へ出る扉に直撃、扉の金属製の枠は壊れ落ちていた。廊下にあった鉄製の机と椅子は潰れ、渡り廊下についていた手すり(長さ約25メートル、直径約5センチ)が約20センチほど折れ曲がっているのを見つけた。



「夜の国のクーパー」を紹介する北原さん(12月17日、よみうり大手町ホールで)

けもの会つくば

動物と人間の関わりを考える

筑波大学が中心となり、10分の宝蔵山、紅葉を前に訪れた観察を横目に、地面に目を凝らして野生動物の足跡を探しているのは、「けもの会つくば」の面々だ。

同日午後3時ごろ、日頃から見ている短髪短髪サイトツイッター上に、ある筑波大生が写真付きで崩壊を伝える投稿を発見した。早速現場に足を運ぶ。1C棟側の屋根を支えていた数本の固定器具(ワンカーホルト)が折られ、屋根が崩落していた。二次災害を慮り、現場には可能な限り近付かないようにしたが、それでも1C棟側から渡り廊下の出入り口付近を見ると、屋根や廊下の粉々に割れた窓ガラスが辺りに飛散していた。また、崩落した屋根は渡り廊下へ出る扉に直撃、扉の金属製の枠は壊れ落ちていた。廊下にあった鉄製の机と椅子は潰れ、渡り廊下についていた手すり(長さ約25メートル、直径約5センチ)が約20センチほど折れ曲がっているのを見つけた。



同日午後3時ごろ、日頃から見ている短髪短髪サイトツイッター上に、ある筑波大生が写真付きで崩壊を伝える投稿を発見した。早速現場に足を運ぶ。1C棟側の屋根を支えていた数本の固定器具(ワンカーホルト)が折られ、屋根が崩落していた。二次災害を慮り、現場には可能な限り近付かないようにしたが、それでも1C棟側から渡り廊下の出入り口付近を見ると、屋根や廊下の粉々に割れた窓ガラスが辺りに飛散していた。また、崩落した屋根は渡り廊下へ出る扉に直撃、扉の金属製の枠は壊れ落ちていた。廊下にあった鉄製の机と椅子は潰れ、渡り廊下についていた手すり(長さ約25メートル、直径約5センチ)が約20センチほど折れ曲がっているのを見つけた。

同日午後3時ごろ、日頃から見ている短髪短髪サイトツイッター上に、ある筑波大生が写真付きで崩壊を伝える投稿を発見した。早速現場に足を運ぶ。1C棟側の屋根を支えていた数本の固定器具(ワンカーホルト)が折られ、屋根が崩落していた。二次災害を慮り、現場には可能な限り近付かないようにしたが、それでも1C棟側から渡り廊下の出入り口付近を見ると、屋根や廊下の粉々に割れた窓ガラスが辺りに飛散していた。また、崩落した屋根は渡り廊下へ出る扉に直撃、扉の金属製の枠は壊れ落ちていた。廊下にあった鉄製の机と椅子は潰れ、渡り廊下についていた手すり(長さ約25メートル、直径約5センチ)が約20センチほど折れ曲がっているのを見つけた。

サッカーで社会貢献考える

イベントに339人が参加

筑波大学が中心となり、10分の宝蔵山、紅葉を前に訪れた観察を横目に、地面に目を凝らして野生動物の足跡を探しているのは、「けもの会つくば」の面々だ。

同日午後3時ごろ、日頃から見ている短髪短髪サイトツイッター上に、ある筑波大生が写真付きで崩壊を伝える投稿を発見した。早速現場に足を運ぶ。1C棟側の屋根を支えていた数本の固定器具(ワンカーホルト)が折られ、屋根が崩落していた。二次災害を慮り、現場には可能な限り近付かないようにしたが、それでも1C棟側から渡り廊下の出入り口付近を見ると、屋根や廊下の粉々に割れた窓ガラスが辺りに飛散していた。また、崩落した屋根は渡り廊下へ出る扉に直撃、扉の金属製の枠は壊れ落ちていた。廊下にあった鉄製の机と椅子は潰れ、渡り廊下についていた手すり(長さ約25メートル、直径約5センチ)が約20センチほど折れ曲がっているのを見つけた。



サッカーを楽しむ参加者ら(12月9日、筑波学院大学で)

Who's Who?

自由民主党茨城県連で初の学生部長を務める

上野 由佳 さん (社学3年)



「将来は愛媛で政治家になりたい」と話す上野さん (12月26日、中央図書館で)

自由民主党茨城県支部連合会(水戸市)の青年局長を務めた昨年6月発足させた、その初代部長を務める。同支部の部長は7人。主な活動は、街頭演説での候補者の紹介や勉強会の開催、定例会の活動報告など。

然に留まれて育った。新聞やニュースを見るのが好きだったことから、政治に興味を持ち、地元の環境や人の生活を守りたいと、政治家を目指そうになった。

加。その時知り合った市議会議員が話してくれた。茨城県龍岡市での豪雨災害(2015年9月)の時の議員たちの対応が印象に残った。市を流れる鬼怒川の堤防が決壊し、甚大な被害が出る中、茨城県出身の議員団会議員や県議、市議らが政府災害支援や住宅の半壊に対する補助金の拠出を働きかけ、政治が被災者を救ったと聞いた。「政治の力は人々を救えることを知った」と当時を振り返る。

政治の力は人々を救える 「学生の声を国政に届けたい」

選挙関連の書籍作成・演説会の司会に当り、配りな、ほぼ毎日選挙事務所に出入りした。どんなに仕事を立て込んでいなくても、忙しんと思ったことはない。むしろ楽しかった」と話す。

選挙事務所で洋業の合間に多くの地元有識者の支えと茨城県や政治などについて気兼ねなく話した。

12月、本紙の編集後記にうれし知らせが入りました。「第7回公開新聞コンテスト」の一般新聞部門で、本紙のキャンペーン(宿舍)を問うが連載賞を受賞しました。前編集長は前号の編集後記で「報じ続けることに決まっています。2015年4月から始まったこの連載は、地道な報道の末、粗大ゴミの不法投棄問題やゴミ置き場の設置という成果をもたせました。4年目を突く今年も報じ続けたいです。先駆者たちが残した「報じ続ける姿勢」を受け継ぎ、真実を伝えていきます。(編集長・秋耕平二(社会学類1年))

次号は、**4月6日(金)** 発行予定です

大学入試センター試験



センター試験に挑む受験生たち (1月13日、2日棟で) = 中村瑞歩撮影

2面へ

構成特別演習作品展



美しい空間を作る高松さんの作品 (12月19日、総合交流会館で) = 秋田耕平撮影

5面へ

蹴球部 Jリーグ入団会見



入団会見で笑顔を見せる選手たち (12月25日、本部棟で) = 明石尚之撮影

9面へ

ニューイヤーパーティー



餅つきに興じる留学生 (1月11日、グローバルヴィレッジで) = 木村誠撮影

10面へ

学内総合

学芸

スポーツ

学生生活

編集後記

12月、本紙の編集後記にうれし知らせが入りました。「第7回公開新聞コンテスト」の一般新聞部門で、本紙のキャンペーン(宿舍)を問うが連載賞を受賞しました。前編集長は前号の編集後記で「報じ続けることに決まっています。2015年4月から始まったこの連載は、地道な報道の末、粗大ゴミの不法投棄問題やゴミ置き場の設置という成果をもたせました。4年目を突く今年も報じ続けたいです。先駆者たちが残した「報じ続ける姿勢」を受け継ぎ、真実を伝えていきます。(編集長・秋耕平二(社会学類1年))